

## 寅さん歩 その 20

### 官公庁の食堂めぐり-17 世田谷区役所



平野 武宏

昨年は東京の大学の学食を食べ歩きました。「寅さん歩」の愛読者から「次はお役所や企業の食堂をお願いします」との声がありました。日本の中枢、中央合同庁舎のある霞が関・大手町や東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催で盛り上がっている東京都庁の食堂を訪問しました。これからは東京 23 区の区役所の食堂を訪問します。

東京 23 区に番号が付いているのを初めて知りました。そのもとは旧自治省（現総務省）がつくったコード番号表です。旧江戸城＝皇居や霞が関官庁街のある千代田区が 1 番です。千代田区を中心に、ここから「の」字にぐるぐる回る順番のようです。

今回は 12 番の世田谷区です。このテーマは訪れるだけでなく、実際に食べて・コメントが必要です。取材やコメントでは関係者にご迷惑をかけないように配慮します。メニューの選択やコメントはあくまでも「寅次郎の好み・独断」としてお読みください。室内の写真撮影は人物の顔が写り込まないことが原則です。メニューや値段は訪問時のもので、最寄り駅は代表例です。

【世田谷区役所】 世田谷区世田谷 4-21-27

最寄駅 東急世田谷線 松陰神社前駅

1932 年(昭和 7 年)に世田谷町、駒沢町、松沢村、玉川村の二町二村が統合、1936 年(昭和 11 年)に北多摩郡千歳村、砧村を編入して現在の世田谷区域となり、1943 年(昭和 18 年)7 月に世田谷区となりました。世田谷の語源については諸説ありますが、承平年間(931~938)の「和名抄」に見られる「多摩郡勢多郷」より起こったといわれています。「世田谷」は他に「瀬田谷」などとも書かれ地名の由来は瀬田の谷地の意であるといわれる。田が少ないことから「狭田」が転じた説や傾斜地であることから「背垂」が「セタ」になった説などがあります。大正までは近郊農村地帯でしたが京王線や小田急線など郊外電車が開通し宅地化が進みました。文化財・遺跡もあり、緑の住宅・文教地区として知られ、人口約 93 万人 [2018 年(平成 30 年)10 月現在]は都内最大の人口、また高級住宅地のイメージもあります。吉田松陰を祀る松陰神社の先に世田谷区役所(写真右)があります。



寅次郎は渋谷駅からバスを利用しました。世田谷区役所入口で下車、世田谷区役所通りを直進すると目の前に世田谷区民会館(地下1階・地上2階)、第1庁舎(地下1階・地上5階)、左側に第2庁舎(地下1階・地上5階)、第3庁舎(3階)、分庁舎(3階)があります。第1庁舎は1960年(昭和35年)竣工、第2庁舎は1969年(昭和44年)竣工の古い建物で隣に建つ国土館大学の近代的な建物と比べると大きく見劣りします。区では区役所の建て直し計画を検討しているようです。

## 【レストラン ワードプラザ】

第1庁舎地下1階にあり、エレベーターが来ないので階段で降りると地下1階は更衣室などがある薄暗い場所で、職員食堂は期待薄でしたが、レストラン内は明るくメニューも豊富でした。

写真下左は日替わりA定食(いかと野菜のフライとハンバーグ)480円、写真右は彩弁当(おろしとんかつ・鳥めし)490円となかなかのものです。



他に日替わりB定食530円、日替わりC定食580円、日替わり麺(470~570円)、カレー370円、そば・うどん340円、ラーメン390円と多彩です。

営業時間は11時~14時、8時~8時30分には朝食セット300円があります。

## 【レストラン けやき】

世田谷区民会館地下1階にあります。値段はチャーハン620円、定食830円、オムライス980円などですが、営業時間が10時~17時30分と長いです。

世田谷区ホームページの観光マップでは「烏山地域」、「砧地域」、「北沢地域」、「世田谷地域」、「玉川地域」の5地域に分けて紹介しています。

「寅さん歩」の世田谷区紹介は次の通りで、番号は「寅さん歩」の目次番号です。

江戸五色不動めぐり:10、東京発祥之地めぐり:11、東京の富士塚めぐり:28

健康ご利益めぐり:57、江戸・東京の祭り:80、171、188

東京の紅葉・黄葉:108、151、197、東京にこんなところ:125、155

江戸・東京(23区)の百名山:142、江戸の閻魔大王:149、158、東京の桜:167

東京の学食めぐり:194、195、209、210

世田谷区の木は「ケヤキ」、花は「サギソウ」、鳥は「オナガ」です。



### [バーチャルウォーク 途中経過]

2018年(平成30年)10月1日沖縄県辺戸岬をスタートした聖火は沖縄県那覇市から鹿児島県、宮崎県、大分県、福岡県、山口県、広島県を経て岡山県に入りました。

2019年(令和元年)5月31日現在、スタートから936km地点を通過しました。

当初計画は月80km(4km×20日)でしたが10月実績113km(3.7km×30日)、11月からの月実績(4~6km×17~28日)で1ヶ月の歩行距離が増えています。でもこれからの梅雨や猛暑の時期では歩行ペースが落ちることが予想されるので、その備蓄分です。

ウォーキングでは人や自然との多くの「出会い・ふれあい」があります。寅次郎も「映画の寅さん」に負けないくらいの人との出会いがあります。ご迷惑をかけない範囲でご紹介します。

### [寅次郎がウォーキングで出会った人—16]

～ 湯の町 修善寺から参加のFWA年間完全完歩ウォーカー ～

静岡県伊豆市修善寺在住のFWA県外会員の飯塚弘夫さんです。写真右は修善寺温泉風景です。

70歳まで働き、その後太りだしたので家の周りを歩いたり、JRのさわやかウォークなどに参加していたとのこと。

FWAとの出会いは[河口湖ツーデーマーチ]に参加した時に寅次郎他FWA

の有志と同じ民宿に泊まったのが最初で、民宿の同じ釜の飯を食べて歩いた仲間です。話をするとFWAの長津豊さん(官公庁の食堂めぐり-4をご参照ください)は静岡県の高校での後輩とのこと。これがご縁で2007年

(平成19年)4月FWAに入会されました。6人の仲間と一緒に入会しましたが、現在、残っているのは飯塚さんだけだそうです。

FWA例会参加には函南駅まで車で来て、その後はJRで来たそうです。現在は小田原まで車で来るとのこと、「2時間あれば来られますよ」と涼しい顔で話しています。各協会では年間の通常例会参加には規定の参加回数で「年間完歩賞」の表彰があり、ウォーカーの励みになっています。



更に定められた例会すべてに参加すると「年間完全完歩賞」となります。飯塚さんは遠くから来られるので「年間完歩賞」は難しいと思っていましたが、「年間完歩」どころか、F W Aの「年間完全完歩」に挑戦され、見事達成されました。「年間完全完歩」は自分の体調や都合のみならず、家族や親戚など周囲の事情が許さないと達成は難しいものです。寅次郎も「年間完全完歩」に挑戦しましたが、親戚の葬儀で1回不参加で涙をのみました。寅次郎の会長時代でしたので飯塚さんを讃えて、「年間完全完歩賞」とは別に「会長特別表彰」を行いました。これで励みになったのか、なんと飯塚さん、2018年までに4度もF W A「年間完全完歩」を達成しています。

K W A（神奈川県ウォーキング協会）でもF W Aを含めた10協会の参加回数に対する年間表彰を行っています。飯塚さん、東は川崎、南は横須賀、北は相模原、西は小田原にある合計10のウォーキング協会に参加し、毎年の年間表彰を受けている恐るべきウォーカーです。

また、会報「県外会員便り」に地元の祭りなどを幾度か紹介され、ホームページ「ひろば」にもアップされています。F W A特別ウォークで「葦山反射炉」周辺を歩いた時には現地から参加してガイド役を務めていただきました。

今回の取材でオランダ、トルコ、韓国、台湾などの大会を歩かれた国際ウォーカーだと知りました。

2019年（平成31年）1月、87歳を迎え、90歳までは歩きたいと抱負を述べていました。

写真右上は2019年（令和元年5月16日）F W A例会でお会いして撮影した、とてもお歳には見えない若々しいお姿です。

2018年（平成30年）坐骨神経痛で一時歩くのを中断した10歳年下の寅次郎、「まだまだ歩けるぞ！」と元気をいただきました。



今回は バーチャルウォークで聖火を新国立競技場へー11 です。

平野 寅次郎 拝